

「考えよう いじめ・SNS@Tokyo」の活用



高等学校 第1学年 人間と社会「ネット時代」

ストーリーをもとに、アドバイスを考える活動

■本時の目標

- 「考えよう いじめ・SNS@Tokyo」の八つのストーリーを題材として、主人公への働きかけを考え、自分自身を見つめ直すことを通して、情報モラルに対する考えを深める。

本時の流れ

	学習内容・学習活動	活動の様子
導入	OSNS を通じて知り合ったことから高校生が事件に巻き込まれた事例等について話し、情報モラルへの関心を高める。	
展開1	<ul style="list-style-type: none"> ○「考えよう いじめ・SNS@Tokyo」のWebサイトを提示し、いじめ相談、SNSそれぞれ4つのストーリーがあることを確認する。 ○各自がスマートフォンや学級タブレットを用いて、その中から自分が興味をもったストーリーを読む。 ○ストーリーごとに4～5名程度のグループに分かれ、自分ならそのストーリーの主人公にどのように働きかけるかを話し合い、グループとしての意見をまとめる。 	 <p>スマートフォンやタブレットでストーリーを視聴</p>
展開2	<ul style="list-style-type: none"> ○グループごとに発表する。最初にストーリーの画面を見せながら簡単に内容を紹介し、その中で主人公や周りの人たちの問題点を指摘する。 ○グループの意見として主人公への働きかけを発表する。 	 <p>ストーリーを確認しながら、主人公への働きかけについて話し合う</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○各グループの発表に対して、疑問や意見を出し合い、考えを深める。 ○実際に困ったときなどに活用できるよう、教育相談センターの電話相談の電話番号や、「こころ空模様チェック」、「SNSルールリマインダー」アプリなどを紹介する。 ○学習を通して、自分が感じたことやこれからこうしていこうと考えることをまとめ、発表する。 	

■生徒の感想等

- ・中学の時に、実際にストーリーと似たような場面に遭遇したこともあるので、自身がしっかり考えてトラブルにならないよう注意していこうと思った。
- ・教員が紹介する前からアプリを見付けインストールしている生徒もあり、このような問題に対する興味・関心が高いことがうかがわれた。